

共同研究
事例②
テーマ

ゲーム教材の普及と新たな環境学習法の研究

共同研究者：NPO法人環境サプリメント研究会・川崎市

概要

川崎市は、NPO法人環境サプリメント研究会の有する環境学習教材（ボードゲーム方式）の作成に係る知見を活用し、地球温暖化対策を意識した行動を市民に促すための環境教育プログラムの開発及びカリキュラムの構築を行いました。平成20・21年度は、市内で実施している地球温暖化対策に寄与する取組（環境教育・学習、普及啓発活動等）状況を整理し、効果的な環境学習手法を検討し、ボード型エコライフゲームを作成しました。平成22年度は、多数の市民が自由に参加できる教材として、平成20・21年度に考案したボード型ゲーム教材を発展させたフロアシート型ゲームを作成し、ゲームを活用した環境学習のあり方や、環境学習での振り返りの手法について検討しました。

研究で得た知見は環境教育・学習をより効果的なものにするために活用していくことを予定しています。



NPO法人環境サプリメント研究会
事務局長
加宮 利行氏

共同研究を実施した感想

全国各地で、温暖化防止に向けた学習会が行われています。ただ、この学習会は環境意識の高い特定の人を対象になりがちです。ゲーム教材を活用して、環境意識に関係なく不特定多数の方を巻き込んだオープンな環境学習、誰でもが自由に参加でき、楽しい環境学習を目指しています。

共同研究者概要

企業名：NPO法人環境サプリメント研究会
所在地：東京都港区
設立：2004年2月
活動概要：「環境教育用グッズ・教材」の開発と「環境負荷を提言する街づくり」に関する調査・企画等



KAWASAKI CITY
川崎市

共同研究を実施した感想

ゲーム教材を使用した環境学習をテーマとして共同研究を3年間行ってきました。環境学習教材として作成した「ボード型ゲーム」に加え、22年度には「フロアシート型ゲーム」を作成し、市民が集まる公共の場（イベント）を利用して環境学習を実践しました。市の地域性を考慮した環境学習教材を活用し、市民が温暖化防止に関する知識について学ぶ機会を創出したことは大きな成果でした。